

登録コード	T2013300	開講年度	2026			市民開放授業	
授業科目	電子情報職業論(16T以降)					担当教員	LIU XIAOXI 他
英文授業名	Electronic and Information Careers					副担当	香山 瑞恵・岡野 浩三・和崎 克己・小林 一樹
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	金曜・5時限	対象学生	学部2～3年生
講義室	工W1-215教室			授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー該当							
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				⇔	【授業の達成目標】	
	2 3 Tカリ						
	【22T～】共通教育による幅広い教養と、工学の専門分野における基礎学力が身についている。				⇔	社会、科学技術基盤としての電子・通信・情報の本質の理解を深め、視野を広げ、明るい未来を築く人材の創出に役立つことを目標とする。	
(2)授業で学べる「テーマ」	キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	本授業ではITが私たちの生活をどう支えていて、生活をどう変えてきたのか、そして理工学、医学、農学、教育学、社会学、経済学、経営学に関連職業においてもITがどのように活用され、これらの学問に関連する職業、ビジネスをどう変えてきているのか、それにより働く環境や仕事に対する価値観の遷移が事例を共有する。人事、知的財産、情報倫理を説明すると共に、情報セキュリティ、サイバー犯罪、情報格差による社会問題など情報社会の影、注意についても解説する。						
(5)授業計画	第1回 本講義の到達目標、講義内容、講義の進め方、評価方法について説明する。 第2回 情報化社会の変遷と現状及びその生じた課題 第3回 理工学情報活用、シミュレーション、CAD 第4回 情報センシング、ICT農業 第5回 医学のICT活用の実例 第6回 社会基盤、行政サービスによるICT活用、変遷 第7回 情報化社会による経済・産業構造の変遷 第8回 企業によるICT活用 第9回 ICTによる新しいビジネスの実例 第10回 情報化社会による働く環境、職場環境、仕事内容、職場での情報リテラシーの変化 第11回 情報倫理、情報犯罪、情報セキュリティ、法制度 第12回 知的財産権・著作権、法制度 第13回 情報化社会によるリスクマネジメント 第14回 仮想社会、生活の情報化、情報化社会に適した教育 第15回 討議・論評・授業アンケート						
(6)成績評価の方法	レポートの提出による到達度を確認し採点する						
(7)成績評価の基準	複数教員・外部講師が担当する授業で、講師ことで内容が提示されたテーマに沿っているか、論理的な記述か、独自の視点があるか、情報処理能力を活用した工夫があるか、などとする目標に向けた到達度をめやすとして配点する。						
(8)事前事後学習の内容	E-alpsで掲載する						
(9)履修上の注意	複数教員担当のため、必ずE-alpsにて確認しましょう。						
(10)質問,相談への対応	金曜日の昼休みを授業履修に関するオフィスアワーとする。W1棟517室（劉）で質問・相談を受け付ける。						
(11)その他	特にない						
【教科書】	駒谷昇一・辰己丈夫 『情報と職業（改訂2版）』 オーム社						
【参考書】	特にない						